

物構研談話会

日時：2/24 (火) 15:00 ～

題名：Studies on Surface Structure using Fast Atom Diffraction (FAD)

講師：Professor Dr. Helmut Winter (Institute of Physics, Humboldt University)

日時：4/16 (火) 16:00 ～

題名：界面の直接的構造解析 Direct method for atomic imaging of interfaces

講師：白澤 徹郎 氏 (東京大学物性研究所)

日時：4/24 (金) 13:30 ～

題名：電界誘起気泡と機能性界面

講師：山西 陽子 氏 (芝浦工業大学機械工学科)

日時：6/11 (火) 15:30 ～

題名：価電子 1 個を捉える X 線回折法の開発と YTiO₃ の軌道秩序観

講師：坂倉 輝俊 氏 (東北大学多元物質科学研究所)

平成 27 年度 客員研究員一覧

氏 名	所 属 ・ 職 名	名 称
朝倉 清高	北海道大学触媒化学研究センター・教授	客員教授
大熊 春夫	高輝度光科学研究センター・加速器部門長	客員教授
上久保裕生	奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科・准教授	客員准教授
腰原 伸也	東京工業大学大学院理工学研究科・教授	客員教授
近藤 忠	大阪大学大学院理学研究科・教授	客員教授
高橋 嘉夫	東京大学大学院理学系研究科・教授	客員教授
長嶋 泰之	東京理科大学理学部第二部物理学科・教授	客員教授
守友 浩	筑波大学大学院数理物質科学研究科・教授	客員教授
姚 閔	北海道大学先端生命科学研究院・教授	客員教授

放射光共同利用実験審査委員会委員名簿

	氏 名	所 属 ・ 職 名
機 構 外 委 員	雨宮 慶幸	東京大学大学院新領域創成科学研究科・教授
	有馬 孝尚	東京大学大学院新領域創成科学研究科・教授
	池田 直	岡山大学理学部・教授
	稲田 康宏	立命館大学生命科学部・教授
	鍵 裕之	東京大学大学院理学系研究科・教授
	栗栖 源嗣	大阪大学蛋白質研究所・教授
	近藤 寛	慶應義塾大学理工学部・教授
	櫻井 伸一	京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科・教授
	佐藤 宇史	東北大学大学院理学研究科・教授
	清水 敏之	東京大学大学院薬学系研究科・教授
	高橋 嘉夫	東京大学大学院理学系研究科・教授
	田渕 雅夫	名古屋大学シンクロトン光研究センター・教授
	中川 貴	大阪大学大学院工学研究科・准教授
	中野 智志	物質・材料研究機構 先端の共通技術部門・主幹研究員
	平井 光博	群馬大学大学院工学研究科・教授
	藤森 淳	東京大学大学院理学系研究科・教授
	前仲 勝実	北海道大学大学院薬学研究院・教授
	真庭 豊	首都大学東京大学院理工学研究科・教授
	百生 敦	東北大学多元物質科学研究所・教授
	姚 閔	北海道大学大学院先端生命科学研究院・教授
吉田 寿雄	京都大学大学院人間・環境学研究科・教授	
機 構 内 委 員	* 村上 洋一	物質構造科学研究所・副所長
	* 雨宮 健太	物質構造科学研究所放射光科学第一研究系・研究主幹
	* 足立 伸一	物質構造科学研究所放射光科学第二研究系・研究主幹
	* 大友 季哉	物質構造科学研究所中性子科学研究系・研究主幹
	* 三宅 康博	物質構造科学研究所ミュオン科学研究系・研究主幹
	* 小林 幸則	加速器研究施設加速器第七研究系・研究主幹
	古川 和朗	加速器研究施設加速器第五研究系・研究主幹
	阿部 仁	物質構造科学研究所放射光科学第二研究系・准教授
	五十嵐教之	物質構造科学研究所放射光科学第一研究系・准教授
	河田 洋	物質構造科学研究所放射光科学第二研究系・教授
	木村 正雄	物質構造科学研究所放射光科学第二研究系・教授
	熊井 玲児	物質構造科学研究所放射光科学第二研究系・教授
	組頭 広志	物質構造科学研究所放射光科学第一研究系・教授
	千田 俊哉	物質構造科学研究所放射光科学第二研究系・教授
	中尾 裕則	物質構造科学研究所放射光科学第二研究系・准教授

任期：平成 27 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日 * 役職指定

放射光共同利用実験審査委員会委員名簿（分科会別）

1. 電子物性	2. 構造物性	3. 化学・材料	4. 生命科学Ⅰ	5. 生命科学Ⅱ	
近藤 寛	有馬 孝尚	稲田 康宏	栗栖 源嗣	雨宮 慶幸	村上 洋一
佐藤 宇史	池田 直	高橋 嘉夫	清水 敏之	櫻井 伸一	足立 伸一
藤森 淳	鍵 裕之	田渕 雅夫	前仲 勝実	平井 光博	大友 季哉
雨宮 健太	中野 智志	中川 貴	姚 閔	百生 敦	三宅 康博
組頭 広志	真庭 豊	吉田 寿雄	千田 俊哉	五十嵐教之	小林 幸則
	熊井 玲児	阿部 仁			古川 和朗
	中尾 裕則	木村 正雄			河田 洋

施設留保ビームタイム採択課題一覧 (2014年度後期)

課題番号	申請者	所属	カテゴリー	課題名	希望ステーション	希望ビームタイム	実施ビームタイム
2014R-31	藤原 健	東京大学	c	Glass GEM の開発	14A	72 時間	72 時間
2014R-32	橋本 亮	KEK-PF	e	二次元検出器の評価方法の検討	14A	24 時間	24 時間
2014R-33	河内 宣之	東京工業大学	f	計測機器演習第 1 (2014 年度) A	20A	24 時間	24 時間
2014R-34	河内 宣之	東京工業大学	f	計測機器演習第 1 (2014 年度) B	20A	24 時間	24 時間
2014R-35	河内 宣之	東京工業大学	f	計測機器演習第 1 (2014 年度) C	20A	24 時間	24 時間
2014R-36	小島 正樹	東京薬科大学	g	ラクトフェリン・鉄複合体の会合状態の解析	10C, 15A2	24 時間	24 時間, 24 時間
2014R-37	足立 純一	KEK-PF	a	BL-20A 分光器誤設定に対する補償	20A	72 時間	72 時間
2014R-38	橋本 博	静岡県立大学	g	修復・転写・細胞周期に関わる REV7 シグナリング複合体の X 線結晶構造解析	1A	14.5 時間	29 時間
2014R-39	尾瀬 農之	北海道大学	g	多機能アダプター分子 STAP-2 のコンフォメーション変化と複合体構造解析	10C	24 時間	24 時間
2014R-40	伏信 進矢	東京大学	g	農学分野での応用に向けた新規な糖質関連酵素・蛋白質の構造解析	NW12A	14 時間	14 時間
2014R-41	橋口 隆生	九州大学	g	マールブルグウイルス糖蛋白質 GP の X 線結晶構造解析	1A	8.5 時間	8.5 時間
2014R-42	溝端 栄一	大阪大学	g	ビタミン B12 酵素の反応中心をミミックした改変ミオグロビンの結晶構造解析	1A	13.5 時間	13.5 時間
2014R-43	矢嶋 俊介	東京農業大学	g	ボツリヌス毒素構成蛋白質の立体構造解析	17A	14.5 時間	14.5 時間
2014R-44	清水 伸隆	KEK-PF	e	タンパク質 X 線溶液散乱ミニ講習会におけるテスト測定	6A	72 時間	72 時間
2014R-45	岡崎 誠司	富山県立大学	g	有用物質生産やアミノ酸定量に有用な酵素群の構造学的研究	1A	8.5 時間	未使用
2014R-46	松田 知子	東京工業大学	g	Geotrichum candidum 由来の高立体選択的アルコール脱水素酵素の構造解析	17A, 5A	8.5 時間	8.5 時間, 8.5 時間
2014R-47	牧野 司	理化学研究所	g	薬剤耐性を示すがん細胞に発現するチュープリンの結晶構造解析	NW12A, 1A	24 時間	8.5 時間, 8.5 時間
2014R-48	小川 覚之	東京大学	g	微小管脱重合蛋白 KIF2-Tubulin 複合体の X 線小角散乱解析	6A	24 時間	24 時間
2014R-49	田中 良和	北海道大学	g	次世代抗体医薬品開発のための低分子二重特異性抗体の機能的構造の理解	10C	24 時間	24 時間
2014R-50	宮永 崇史	弘前大学	f	弘前大学と PF との協定に基づく放射光実習	12C	12 時間	12 時間
2014R-51	村田 武士	千葉大学	g	リン酸結合型 V1-ATPase の X 線結晶構造解析	1A	13.5 時間	28 時間
2014R-52	山田 悠介	KEK-PF	g	効率的ビームタイム利用を目指したラピッドアクセスの確立と利用支援	NW12A		2.5 時間
2014R-53	新野 睦子	理化学研究所	g	細胞骨格制御に関する CDM ファミリー分子群の結晶構造解析	1A	29 時間	23.5 時間
2014R-54	水口(鈴木)千穂	東京大学	g	新奇な多量体形成機構を持つ H-NS ファミリータンパク質の構造基盤の解明	5A	14.5 時間	14.5 時間
2014R-55	木下 誉富	大阪府立大学	g	創薬標的キナーゼの構造研究	NE3A	8.5 時間	8.5 時間
2014R-56	宇佐美徳子	KEK-PF	b	細胞核の自動認識による細胞核・細胞質照射のテスト	27B	24 時間	24 時間

2014R-57	伊藤 俊将	昭和薬科大学	g	リガンド結合が及ぼす核内受容体の構造変化に関する研究	10C	24 時間	24 時間
2014R-58	加藤 公児	北海道大学	g	ErbB3 の構造と機能を制御する N 型糖鎖	1A	8.5 時間	8.5 時間
2014R-59	加藤 公児	北海道大学	g	機能性食品や医薬品原料の開発へ向けての糖質代謝酵素群の結晶構造解析	1A	13.5 時間	13.5 時間
2014R-60	熊井 玲児	KEK-PF	e	放射光ビームを利用したサマーチャレンジ参加学生の実習	12C, 15A2, 20A, NW14A		36 時間, 48 時間, 72 時間, 36 時間
2014R-61	君島 堅一	KEK-PF	e	企業向け XAFS 講習会	9A, 9C, 12C	36 時間	12 時間, 12 時間, 12 時間
2014R-62	藤井孝太郎	東京工業大学	a	4B2 加熱昇温装置のメンテナンス	4B2	24 時間	24 時間
2014R-63	清水 伸隆	KEK-PF	g	生体関連物質の小角散乱による構造解析	15A2	24 時間	24 時間
2014R-64	橋本 亮	KEK-PF	b	SOPHIAS 検出器の性能評価実験	15A2	12 時間	12 時間
2014R-65	東 善郎	上智大学	g	ピリミジンの光電子分光	20A	72 時間	72 時間

- a) マシン, ビームラインの故障等に対するビームタイムの補填。
- b) ビームライン・実験装置の性能向上をスピーディにする。
- c) 早期に成果を創出するために, やり残した実験を実施する。
- d) U 型課題の受付をし, 重要な研究の計画から成果公表までの時間を短縮する。「既配分課題を排除する程の重要性」ではなくても緊急かつ重要な U 型研究課題を実施する。U 型申請, 審査は従来通り行うが, 留保枠, 未配分 BT 内で実施すべきものはレフェリーの意見を参考に PF-PAC 委員長が判断する。
- e) 講習会, 実習等や有望な新規ユーザーを開拓する。※ 利用経験者による新しい研究提案は U 型課題として処理する。
- f) 教育用ビームタイムの時間確保。
- g) 施設, ビームラインの運営に対する柔軟性を増し, 一層の成果拡大に対して工夫する自由度を作る。外国の放射光施設職員等の来所時にテスト実験を行う等運用上の柔軟性を確保する。